

発 行 所
秋田建築労働組合
 〒010-0061
 秋田市卸町三丁目4-5
 TEL (018) 865-2291 (代表)
 URL <http://www.akita-kenro.com>
 メールアドレス akita@akita-kenro.com
 発行責任者 千葉直樹
 編集者 猪田博樹



7月3日、組合は中

東情勢の緊迫化に伴う建設資材・設備等の供給不安、価格高騰への対策強化や、中小建設業者の事業継続、雇用

造課、雇用労働政策課、建設政策課、技術管理課、建築住宅課、営繕課の課長や政策監が担当しました。

産業政策課、新産業創造課、雇用労働政策課、建設政策課、技術管理課、建築住宅課、営繕課の課長や政策監が担当しました。

「6／17に国土交通省・東北地方整備局から秋田建労に対し、建材・設備の「目詰まり」が続いている」と仲間

維持等への支援を求め、秋田県建設技能組合連合会と合同で県の担当課へ要請を行いました。

組合から千葉直樹組合長、鈴木賢治事務局長が参加、秋田技能議員連盟の柴田正敏会長と高橋武浩幹事長、鈴木洋一副会長、原幸子副会長、鈴木真実建設委員長が同席、県側は

千葉組合長は「住宅建築において、一部で資材の入荷が見通せるようになった物もあるが、シンナー、塗料、塩ビ管など多くの住宅建材が価格高騰・入手困難など建設業界に大きな影響が出ている。請負価格の上昇や工期の遅延、適正な見積もりや契約も困難な状況

解消に向けた情報収集のヒアリングを受け、国に対して早期に建材の安定供給と価格高騰対策を求めた。県としても国に対し供給網の強化、供給不安の解消や流通の円滑化、価格高騰への適切な措置を講ずること、中小建設事業者の事業継続、雇用維持に向けた支援を

検討して欲しい」と要望しました。

県の担当課へ支援を求める



八峰町6月29日

能代支部から小沢悟
支部長ら3人、組合か
ら工藤達美副組合長、

望書を手渡ししました。

堀内町長は「担い手不足解消に向け、町の発注工事全てで週休2日を実現している。最新の労務単価で積算しており、末端まで行き渡るよう元請けに指導していきたい。公契約条例は様々な課題をクリアしながら県の状況も注視して検討したい住宅リフォーム助成は今後も継続していく。

町としても地域建設産

能代支部から小沢悟支部長ら3人、二ツ井支部から藤田智和支部長ら2人、組合から工藤達美副組合長、鈴木賢治事務局長が参加、能代市側は鍋谷暁市長と担当課が対応しました。

能代市6月30日

鈴木賢治事務局長が参加、八峰町側は堀内満也町長が対応しました。小沢支部長は「建設技能者の確保・育成が喫緊の課題になつてい

業の発展を図っていくことが非常に大事だと思つていますので、皆さんと一緒に取組んでいきたい」と述べました。

述べました。

る。公共工事設計労務単価の上昇が末端の技能者の賃金に反映されていない現状を改善するため、発注段階から最終下請けまで適正な賃金が確保される仕組みを。また、中東情勢の影響によつて資材高騰や供給不安が生じている点にも触れ、仲間の窮状を訴えながら、早期解決に向けた対応もお願いしました。

願いました。

要望書を手渡す

が追い付いていない。持続可能な建設業の実現に向けて、建設技能者の賃金と労働環境の改善を要望する」と現状を訴え要望書を手渡しました。

鍋谷市長は、「リフォーム補助をはじめ継続させていただけるところは継続していきま
すし、拡充も検討させていただく」と理解を示したうえで、担当課から、「労務単価の上昇分を反映したうえ、契約書と内訳書の提出

未だに元通りになる
気配はない。建設業界
では、ナフサを原料と
する断熱材や塗料、シ
ンナー、シーリング材
などの資材価格が高止
まりし、建設コストへ
の影響が続いている。
こうした状況だからこ
そ、資材価格だけでな
く、職人の賃金・単価
もしつかり確保するこ
とが重要だ。

全建総連が進める「賃上げチャレンジミッション」は、適正な労務費の確保と賃金引上げを目指す取り組みだ。見積書には資材価格の上昇と適正な労務費を反映し、価格転嫁を進めることが、持続的な建設産業と担い手確保につながるはずだ。

秋田建労は、組合員の暮らしを守り、安心して働き続ける建設業を目指して、賃上げチャレンジミッションを推進している。この機会に適正な賃金・単価の実現に向けた取り組みを、組合員一丸となつて取り組んでいきたい。もし、分からないことや質問があればいつでも組合事務所に連絡してもらいたい。

中東情勢を踏まえた 調達状況に関するヒアリング

仲間の苦しい状況を報告

中東情勢の悪化により、多くの住宅建材・設備が価格高騰や入手困難になるなど、建設業界に大きな影響が出ていることから、問題の解消に向けて関係省庁と関係団体の連携が進められ、6月17日に国土交通省と東北地方整備局による調達状況に関するヒアリングがWebで行われました。組合から千葉組合長と久米書記長、国土交

千葉組合長は、一部の建材では納期が遅れながらも入手できるものもあるが、エアコンダクトカバー、シンナー、さび止めやシーラーなどが入手困難となっていて、資材価格の急激な値上げと供給不安により、仲間が適正な見積もりや契約が困難な状況になっている。久米書記長は、屋根の下地材やルーフィングがない、入荷もわからない状況が続いている。コストアップを価格に転嫁できず経営を圧迫している事業継続が難しい仲間もいる。といった切実な状況を報告し、早期に目詰まりや供給の偏りの解消を訴えました。

地方整備局、地方経産局の方で連携して、情報の把握や情報提供していくことで目詰まりの解消を進めているとしたうえで、「今後

も先般の中東情勢の影響を受けている事業者の方々の取引において適切な価格転嫁が行われるよう、政府全体で徹底して取り組んで参ります」と応じました。

資料を元に状況報告をする千葉組合長

ナフサ問題 早期解決を訴える 秋田建労が代表で決意表明

早期解決と諸要求実現を国に対し強く要請しました。

主催者挨拶では、鈴木中央執行委員長より「昨今の中東情勢によるナフサ不足は、資材の調達難や価格の大幅な高騰により仲間の仕事に深刻な影響を与えており、最重要課題として早期解決を強く訴える。諸要求実現のために共にがんばりましょう」と挨拶がありました。

来賓の各政党の国會議員から「物がなくて仕事ができない。現場が完成できない。廃業してしまふ。」「全建総連の仲間の皆さんの現場の悲痛な声と実情が多く寄せられている。政党の枠を超えて問題解決に早急に取り組むとともに、国民が安心して暮らすために必要不可欠な建設インフラを支えていただいている現場の皆さんに深く

7月8日、東京都のニッショーホールにおいて、「建設資材の供給不安解消 価格高騰から仕事と暮らしを守れ」全建総連7・8予算要求中央総決起集会が、46県連組合1024名の参加で開催されました。「物価上昇を上回る大幅な賃金・単価引き上げと建設国保育成強化を実現しよう」をメインスローガンに掲げ、中東情勢における問題の



船木副組合長が決意表明



参加者でプラカードアクション

2027年度予算について、担い手3法の改正を受けた適切な労務費の確保、建設国保の育成強化、CCUSの普及促進、住宅補助事業の拡充と技能者の確保育成支援、建設アスベスト被害根絶、熱中症対策の実効性のある取組の推進、インボイス制度の負担軽減措置等が要請されました。

参加者全員で「建設国保育成・強化」「賃金・単価大幅引き上げ」のプラカードアクションと団結ガンバロウで、幕を下ろしました。

敬意を表すとともに、建設国保の育成強化や適切な労務費確保など要求実現に向けて全力を尽くします。」と挨拶があり、鈴木中央執行委員長より要請書が手渡されました。

今回の要請書の内容としては、大きく分けて2つ目として、持続可能な建設業の実現、

中東情勢の緊迫化を受けた対策強化として、建材、資材の供給不安解消と価格高騰への適切な措置、事業継続や雇用維持に向けた支援の拡充等を検討すること。2つ目として、持続可能な建設業の実現、

秋田建労の船木基行副組合長が代表として選ばれ、「建設業を取り巻く環境はとて厳しいが、将来を担う若者が希望をもつて働ける業界を築くためには、賃上げと処遇改善が必要。全国の仲間との団

結をさらに強め、大きなうねりを作りたいことを誓い決意表明します。」と強く呼び掛け、会場は大きな拍手に包まれました。

これまでの粘り強い運動の積み重ねにより私たちは現場の仲間の声は確実に国に届いています。早期の問題解決とより実効性のある具体的施策が実現し、安心して仕事や生活ができるよう運動を前進させていきましょう。

仲間を訪問して 情報共有 未加入者の紹介も

上北支部

6月28日、上北支部は佐藤敏彦支部長、田口寛副支部長で組合員訪問を行いました。話題は最近の仕事の状況が多く、中東情勢の影響で資材の確保や材料費の値上げに苦慮していることや、全体的に仕事量が減ってきているなど、いろいろな情報共有が生まれました。また、現場で組合に入っていない仲間が

河辺支部

6月28日、河辺支部は長谷部大治支部長が組合員訪問を行いました。今回は高齢な組合員を中心に回り、組合や支部に対する要望はないか、組合継続加入のお願い、支部行事の



組合員を訪問する田口寛副支部長

いたらず声をかけてくださいとお願いすると、早速5班の仲間が1人紹介してくれましたので、組合加入までサポートしたいと思っています。

話などをしました。体調を崩して仕事を休んでいる仲間には、共済のお見舞金の説明をしたり、仕事も減って組合辞めたらいいかとの相談には、組合に残っていれば支部の行事にも出られるし、共済もあるからと声を掛けました。支部の慰安会が決まったら誘って欲しいといった声もあり、改めて仲間との対話の大切さを感じました。

保育園手際良く修繕
青年部ボランティア

6月20日、秋田市「さくら保育園」にて青年部ボランティア活動が実施され、今回は8名の青年部員が集まりました。

この日は保育参観も行われており、午前中は屋外で外壁補修と園庭の地ならしを行いました。外壁の一部に塗装の剥がれや腐食が進んだ部分があったので

地面を平らにならしたり、砂を運び出したりしました。

昼食を挟んで午後からは、屋内の作業が始まりました。まずは玄関の電灯を交換、LEDランプに変わったことで交換前と比べてかなり明るい玄関となりました。

続いて、こどもたちが過ごす保育室にはテ

ーブルやストーブが収まつている棚があり、棚の古くなつて劣化が進んだ木枠部分を修理・交換しました。赤ちゃんクラスの部屋の窓際には、こどもたちの脱走や転落を防ぐ木製の格子が取り付けられており、それも日々利用で受け木部分が劣化していたので新しいものに交換しました。

A black and white photograph of four young men in an outdoor setting, possibly a courtyard or alleyway. One man in the center is bent over, looking at something on the ground. Another man stands to the left, looking towards the center. A third man stands in the background, and a fourth man is walking away on the right. The background shows a building with horizontal siding and windows.

当日は気温が高かったり、工具などの音に気を配ったりしながらの作業となりました。
青年部員の皆さん、ご協力いただきありがとうございました。
うございました。

県南住宅センター 第27回総会

確かな腕と安心感で 地域を元気に！

新年度の事業計画を承認

7月6日、横手市雄物川町「雄川荘」にて秋田建労県南住宅センター第27回総会が開催され14人が参加しました。

鈴木辰彦会長の挨拶

につづいて、来賓の久米成順書記長が挨拶の中で昨今の中東情勢の緊迫化に言及し、「特にナフサ問題では皆様の業務にも多大な影響が出ているのではない

かと危惧しております」と述べ、「このような困難な時こそ、会員の皆様が一致団結して、この状況を乗り越えていただきたい」と語りました。続いて、船木基行副組合長が「県南の気候や風土を知り尽くした皆さんの、確かな腕と顔が見える安心感に勝るものはない。これから県南地区を元気に盛り上げてください」と期待の言葉を述べました。

8年度事業計画（案）では、鈴木会長が「宣伝活動の強化」、「会員の親睦交流と情報交換」、「各支部住宅デーへの参加」を提案。

も活用して、住宅セン
ターの受注につなげた
い。会員の皆さん厳し
い状況ではありますが
よろしく願います
と決意を込めて協力を
呼びかけました。その
後、令和8年度予算
(案)などが承認され
新年度がスタートしま
した。

大仙・美郷支部慰労会を開催

世代を超えた交流

生ビールで親睦を深める

【大仙・美郷支部

親睦を深めた。

7月4日、生ビール
祭りを兼ねた慰労会を
開催し、多くの組合員
と家族が参加した。

会場では、久しぶりに顔を合わせた仲間同士が近況を報告し合い終始笑顔と笑い声が絶えない和やかな雰囲気

一年間、それぞれの職場で安全第一を心掛け、地域の住まいづくりに尽力してきた仲間が一堂に会し、料理と生ビールを囲みながら

となつた。恒例のゲームや抽選会も行われ、若い世代まで大いに盛り上がり、世代を超えた交流の輪が広がった。建築業界を取り巻く

安全作業を最優先とし、技術の研鑽と地域社会への貢献に努めるとともに、安心して働ける職場づくりを進めていく考えだ。

折紙に込めた 命と感動

秋田南支部ミュージカル鑑賞

【秋田南支部】

石田 誠

7月5日、秋田南支
部では、仙北市あきた
芸術村わらび座にて、
ミュージカル鑑賞を行
ないました。機関紙に

住、子供支援、人材育成支援に取り組み、舞台芸術を通して生きることの素晴らしさを伝えたいと活動を行っています。

折り紙に命が宿り、
黒い鳥の呪いと、この
地に眠る白銀の龍との
壮大で大迫力のバトル
と、フィギュアシアタ
ーで描く舞台で、感動
の演技に拍手喝采で幕
が降りました。あちら
こちらで溜息が聞こえ
ました。

懇親会では、支部長から、多数の参加者への感謝の言葉と共に、今後の協力を呼び掛けました。乾杯は長谷部大治河辺支部長より発声してもらい交流を深めました。

わらび座で記念撮影

75周年記念の一作で「黒紙の魔術師と白銀の龍」。原作は鳥美山貴子さん、由利ましました。懇親会では、支部長から、多数の参加者への感謝の言葉と共に、今後の協力を呼び掛けました。乾杯は長谷部大治河辺支部長より登声してもらい交流を深めました。

新築
増改築
修繕

より良い住まいづくりのお手伝い

何ご相談下さい

住まいもあなたの健康、気持ちと手入れで家の寿命も延びます。

秋田建築労働センターには住まいづくりに必要となる職人がいます。

新築・増改築・高齢者対応住宅・地震対策等いろいろなことなら小さな会社でもご相談ください。

ご相談無料
（条件あり）



大工



左官



水道設備



塗装



建具

内装
電気
設計
空調

新築・増改築・小修繕は信用のある技術者による「省エネ」にご相談ください。

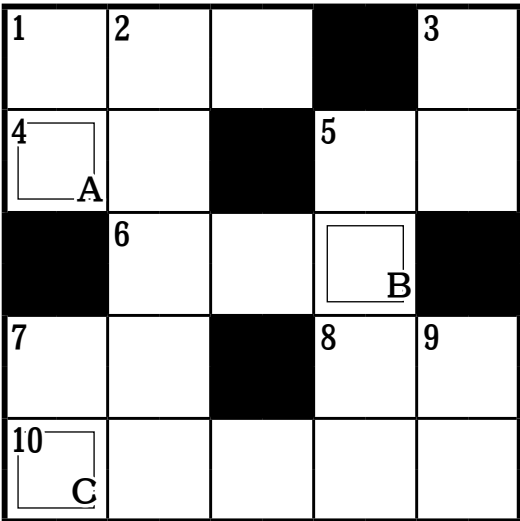
秋田建築労働組合
秋田県南住宅センター

技術事務所
TEL 0187-62-7203
FAX 0187-62-7204



秋田建労パズル

解答をハガキかファックスまたはSNSにて、住所・氏名・年齢・電話・職種・支部名と100字以内の近況もしくはコメントを添えて、組合教宣部宛へお送り下さい。抽選で5名の方に記念品を進呈致します。FAX 018-865-2292 締め切りは、8月10日まで



たてのかぎ

1. お買い物をしにいくところ
2. 突き詰めて、どこまでも探求します
3. 日々の食糧
5. 全速力で走る!
7. 故郷や田舎
9. 今年は雨がたくさん降りましたね

よこのかぎ

1. キャッチャーやファーストの手に
4. 毎日、畑仕事に〇〇を出す
5. 度の入っていないメガネです
6. 〇〇〇、礼、着席
7. ただのお湯
8. 上を〇〇への大騒ぎ
10. 大豆が原料のドリンク。コレににがりを入れれば、豆腐になります

● 前回の当選者

佐々木 修さん (仁井田) 佐々木澄子さん (本部直轄)
浅利百合子さん (大 館) 虻川 政法さん (中 央)
小玉美智子さん (五城目) 応募総数 9 名

解 答

A B C

前回の解答は

シ シ ユ ウ
A B C D E

読者の近況

今年も所狭しと花壇にキュウリとミニトマトを植えました。毎日世話をするのが楽しくて、収穫出来るとみずみずしくておいしい。自分で育てた野菜は格別ですね。しばらくは楽しめそうです。
(主婦 70歳)

今年の山菜、田代のタケノコ、ミズを頂き、特にタケノコは柔らかく、梅雨の真っ只中というのに毎日暑い日が続きます。家の周りは、草だらけ! 少しでもきれいにしようかと草取りに挑戦するも、暑くて暑くて朝の日の出前と夕方日の入り後しかできません! 夏が来たらどうなるでしょう? こまめに水分補給に気を付けて乗り切り

今年も夏がやって来ました。これからもうと暑い日が続いて35℃とかになるんでしょうね。九州では今日の最高気温37℃超えだとか。秋田はまだいい方かもしれませんね。
(事務 64歳)

今年も県内各地で夏祭りが開催されます。練習風景も夏の風物詩となりましたね。楽しみます。
(建築管理 55歳)

くてもとても美味しかったです。ミズタキも粘りがありご飯がはかどるし、今年の夏バテはないだろう。
(建築大工 75歳)

たいと思います。
(通信工 70歳)

STOP! 熱中症

夏季を中心に熱中症の発生が相次ぐ中、重篤化して死亡に至る事例も後を絶たない状況です。昨年1年間の熱中症の発生状況を見ると、死亡を含む休業4日以上死傷者数は1,681人、うち死亡者数は15人となっており、業種別にみると、死傷者数については、全体の約4割が建設業と製造業で発生しています。厚労省では、最新の知見を元に「中小企業の事業主、安全・衛生管理担当者・現場作業員向け 働く人の今すぐ使える熱中症ガイド」を作成していますので、これからの熱中症予防対策へぜひお役立てください。

※下記URL及びQRコードよりご確認ください。
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



【熱中症ガイドメイン】



【水分補給と休憩(動画)】

「中建国保だより令和8年5月号」の訂正とおわびについて

「中建国保だより令和8年5月号」の7頁に掲載しました「令和8年8月より高額療養費制度が見直しとなります」の中に、一部、誤りがあることが判明しましたので、下記のとおり訂正いたします。ご迷惑をおかけしましたことを深くおわびいたします。

記

〈誤〉

※ **「96万円未満** (旧ただし書き所得)」区分に該当することが確認できた場合は、年間上限41万円を適用。

〈正〉

※ **「86万円未満** (旧ただし書き所得)」区分に該当することが確認できた場合は、年間上限41万円を適用。

2026年度 集団健診日程表

開催日	出張所(地区)	会場
8月1日(土)	秋田東(城東)	中央健診センター
8月22日(土)	中央	中央健診センター
8月29日(土)	土崎	中央健診センター

女性部施設見学会のお知らせ

女性部では佐竹史料館の見学会を行います。みなさまのご参加をお待ちしております。

日 時：令和8年**9月12日**(土)
見学場所：佐竹史料館(秋田市) 所要時間 1 時間半
集合場所：佐竹史料館入口まえ
※現地集合です。駐車場は各自ご負担となります。
集合時間：9時50分 終了時間：14時頃
参加費：2,000円(千秋亭での昼食代を含む)
申込締切：令和8年8月21日(金)
担 当：石川・伊藤

秋田建労パズルの回答は、秋田建労の SNS でも募集中です!

QRコードを読み込んで、@akitakenro_pへDM(ダイレクトメッセージ)機能を使って、パズルの回答をお送りください。

「氏名・職種・支部名・組合員さんの近況」も添えてご応募ください!



X(旧 Twitter)



Instagram



Threads



TikTok

編集後記

北中米ワールドカップの日本の戦いが幕を閉じた。優勝を公言していただけに、期待をされていたが残念な結果に終わった。予選も決

勝トーナメントも強敵ばかり。最後のブラジル戦は目覚ましをかけた午前2時に起き、眠い目をこすりながら観戦した。4年後の大会も時差がある場所だが、サムライブルーの戦いを今から楽しみにしている。
①